



# 平成24年度 予算を編成

平成24年度の田川市一般会計当初予算が、総額260億5,959万8千円に決まりました。伊藤信勝市長が3月議会で述べた所信をもとに、予算編成の概要をお知らせします。

地方経済の低迷や歴史的円高など、地方を取り巻く経済環境は依然として好転の兆しが見えず、本市の財政状況も国への依存度が高い状態が続き、大変厳しい状況にあります。

そのような状況の中、本市においては、昨年4月から第5次総合計画がスタートし、まちづくりの将来像である「ひとを育て自然と産業が共に息づくまち田川」活力あるものづくり産業都市を目指して「ひとを育て、まちづくり施策に取り組んでいます。本年度は、より本格的に、全力を挙げ取り組んでいきたいと考えています。

平成24年度は、第5次総合計画と予算との連動が図られた実質的な初年度であり、限られた財源をより効果の高い事業へ振り向けるよう積極的な予算編成を行った結果、平成24年度一般会計当初予算は、総額260億5,959万8千円となり、前年度と比較すると9億4,470万8千円、3.8%の増となっております。

本市では、平成23年度から予算区分を大きく4つに分けて、編成を行っています。

市独自の政策的事業である「総合計画経費」、社会保障費（生活保護費など）や公債費（借金の返済）などの制度上支出額が決められている義務的な「固定経費」、老朽化が進んでいる公共施設などの長寿命化を図るための「修繕費」、これら以外の事務管理的経費を「その他の経費」に区分して

## 一般会計歳出

### ◎総合計画経費

「都市づくり」 平原住宅団地の分譲地販売を24年度中に開始する予定であり、そのための経費を計上しています。

また、本市への移住・定住の促進を図るため、住宅新築を目的に市有地を購入した場合に、その費用の一部を助成する制度や、市内業者により住宅のバリアフリー化・省エネ化・長寿命化に関する改修工事を行った場合、または太陽光発電システムを設置した場合に、工事費の一部を助成する制度を設けるための経費を計上しています。

さらに、公共下水道の整備に向け、本市の中心市街地を主とした集合処理区域の事業計画策定に要する経費を計上しています。

### ◎産業・経済

雇用環境は依然として改善の傾向が見られない中、雇用対策は本市にとって重要課題のひとつです。平成24年度においては、失業者や未就職者が職業訓練を受ける際に必要な経費や資格取得に係る受験料などを助成する就業援助を行

います。

### 計上しています。

教育政策については、猪位金校区に小中一貫校を設置する予定にしており、平成26年度の開校に向け、平成24年度においては、施設の調査設計費および教育課程や教育体制などの検討に要する経費について、計上しています。

また、これまで実施してきた小中学校の少人数学級および学習指導について、平成24年度では、小中学校の対象を5年生まで拡充して実施する予定にしており、中学校分を含めた講師の増員についての経費を計上しています。

### ◎行財政運営

市民がまちづくりに参加しやすい環境をつくるため、市民参加・協働の基本的理念や具体的な方法などを規定するなど、市民参加型のまちづくりに向け、各種事業を行っていきます。

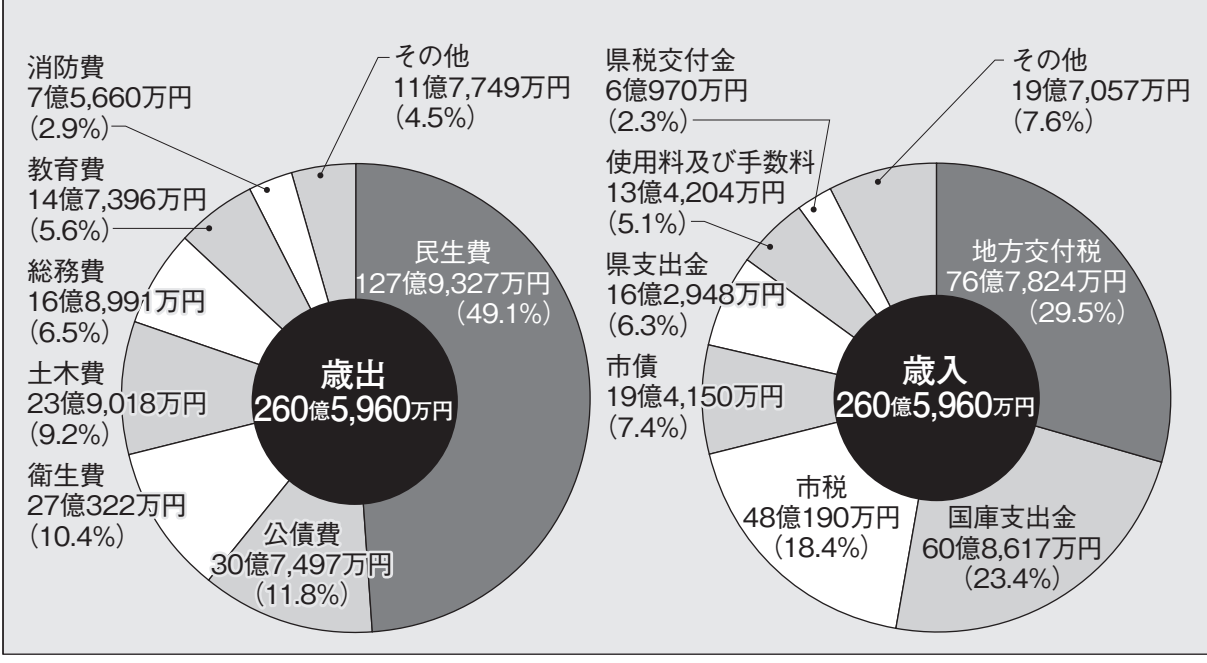
また、将来的な健全財政を目指すため、第5次行政改革大綱の進捗状況を確認していくとともに、行政評価や事業仕分けなどについても引き続き実施してまいります。

### ◎固定経費

人件費の概要については、一般会計における予算編成上の職員数は363人で、前年度比6人の増となっております。職員人件費の総額は30億616万4千円となり、前年度比で2億389万4千円、6.4%の減となっております。

本市の懸案でもある生活保護費については、近年の経済不況の影響

## 平成24年度 一般会計当初予算



うとともに、非正規労働者や中高年齢層の失業者に対する雇用・就業機会を創出するための「緊急雇用創出事業」を引き続き行っています。

また、企業誘致事業として、市内に事業所の新設などを行う企業に対して交付する事業所設置奨励

と企業収益は緩やかながら回復傾向にあることから、前年度より増額計上しています。

### ◎地方交付税

地域主権改革に沿った財源の充実を図り、地方の海外競争力強化などのため、国全体の地方交付税総額は対前年度比で811億円増額確保されており、本市の地方交付税については、76億7,823万8千円、昨年度比で2,117万9千円の増を見込んでいます。

### ◎収支の調整

収支全体としては、6億1,823万8千円の歳入不足となったことから、基金の取り崩しなどによって収支の均衡を図っています。

## 特別会計

### ◎国民健康保険特別会計

64億2,219万6千円を計上

### ◎後期高齢者医療特別会計

7億3,700万円を計上

### ◎急患医療特別会計

1億6,177万3千円を計上

### ◎住宅新築資金等貸付特別会計

6千430万4千円を計上

### ◎田川市等三線沿線地域交通体系整備事業基金特別会計

1億5,418万円を計上

### ◎水道事業会計

行政改革の実施計画に掲げている施設の経年劣化に対する更新改良などを内容とし、さらなる事務事業の効率性・継続性を求め経営の健全化を図ってまいります。

収入	13億 2,058万8千円
支出	11億9,959万9千円
収入	1億 8,600万円
支出	5億7,399万1千円

収入では、外科医師の増員により、手術件数が増加することや、診療単価の向上、周産期医療の充実などにより、入院収益の増加が見込まれますが、外来では、医師の入れ替わりによる影響があり、医療収益全体としては減少する見込みです。

支出では職員配置・委託の見直し、薬品・診療材料の効率化を図るなど費用の削減を行い、医療費用も減少する見込みです。

この結果、収益的収支では、収入に対し支出が5億1,362万4千円上回る予算となっております。依然として厳しい状況が続きますが、田川地域住民の医療の向上と、急性期病院としての経営安定化に資するため、4月からDPC（診断群分類包括評価）準備病院への参加、徹底した医師確保対策などによる診療体制の充実および費用の削減努力などによるさまざまな対策を引き続き実施し、一刻も早い経営の安定化に向け、市をあげて最善の努力を尽くします。

収入	52億9,984万5千1千円
支出	58億1,207万5千円

収入 4億1,211万9千円  
支出 5億8,960万円